AA19980030J1

"学校版"の適応教室開設

広島市 余裕教室を活用し

'98.4.18 日本教育新聞

広島市教委は、本年度から余裕教室を活用して、保健室登校を繰り返し、不登校に陥りそうな児童・生徒を指導する「ふれあい教室」をスタートする。適応指導教室の「学校版」といえるもの。

教室は十二年度までの三年計画で、全小・中学校で行う。本年度は小学校十校、中学校二十六校の合計三十六校で実施。十一年度は小学校七十五校、中学校三十校の計百五校、最終年度は小学校百三十四校、中学校五十九校の計百九十三校に拡大する。

教室は、市内の五十九中学校単位で組織している「ふれあい推進協議会」が地域やPTA関係者に協力を求め、登校してきても保健室などで過ごしたり、家庭に引きこもりがちな児童

